

小5 幸喜さん英検準1級合格

英会話教室などを運営する「ファミリーイングリッシュスクールインターナショナル」(那覇市樋川)の小学部に通う、5年の幸喜朝生(あおい)さん(11)が英語検定準1級に合格した。昨年11月の受験時はまだ10歳で、同校の英検準1級合格者では最年少という。幸喜さんは「世界で活躍できるアナウンサーになりたい」と目を輝かせる。

きっかけは祖母、5歳から教室に通う 夢は英語話せるアナウンサー

5歳の頃に、祖母に連れられて同校に通い始めたという幸喜さん。めきめきと力を伸ばし、5歳で5級に合格。6歳では2級に受かった。

しかし準1級は難易度が上がり、合格は容易ではなかった。日本語に訳しても小学生には難しい言葉が並ぶ。辞書を活用し、先生に積極的に質問して学習を進めた。5度目の挑戦の末に合格を勝ち取り、「やった!」と喜んだ。

得意分野は英作文。あらかじめ決められたワードを用いて自由に文章を作るのが好きという。自宅では、イギリスに滞在経験がある両親と英語で会話したり、洋画を字幕なしで見たりと日常から英語になじんでいる。最近、家族で映画「ミッション・インポッシブル」を鑑賞した。まだ海外に行ったことはなく、「カナダに行ってみよう」と希望を膨らませる。

英語を学ぶきっかけをくれた祖母は、金武町で「カフェレストラン長楽」や「田いも工房 きん田」を営んでいた豊川あさみさん。昨年8月に亡くなった。いつも学校まで送迎をしてくれたという。準1級の合格通知が届いたのはクリスマスの日で「おばあちゃんからのクリスマスプレゼントだ」と思った。合格してすぐに、祖母の仏壇に「やっと準1級受かったよ。ありがとう」と報告した。

教室の大城さとみマネージャーは「朝生さんは踏ん張る力がある。私も奮い立たされた。子どもの可能性は果てしない。将来が楽しみだ」と評価した。

朝生さんの将来の夢は英語が話せるアナウンサー。次は1級の合格を目指して勉強に励む。(中村優希)



英語検定準1級に合格した幸喜朝生さん。1月23日、那覇市樋川のファミリーイングリッシュスクールインターナショナル